



「区政会議」でいただいたご意見への対応状況をご紹介します！！ ～「平成29年度第2回区政会議」～

■区政会議とは

・区政運営にかかる方針や区における施策・事業について、区民の皆様からご意見・評価をいただき、そのご意見を施策・事業の改善や新たな展開等に反映させていくために、各区において開催しています。

■第2回区政会議を開催しました(平成29年12月14日)

「平成29年度区運営方針中間振り返り」および「平成30年度区運営方針(素案)」について議論を行い、委員の皆さんから次のようなご意見をいただきました。

番号	いただいたご意見	対応状況(平成30年6月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
1	【区政会議】 ・2年前の区政会議委員の改選時に継続された方が多かったので、今回の改選でほとんどの委員が新しいメンバーとなった。2年後の改選では改善してほしい。(平嶋委員)	2年前の改選時に継続希望される委員が多かったので、今回2期4年の任期満了になられた委員が多く、大幅な改選となりました。次回改選時(31年度)には、任期満了による大幅な改選があまりないように工夫を講じてまいります。	③	—
2	【区政会議】 ・年に2回、4時間程度の審議では困難であるので、別に質問だけの場を設けるなど工夫してほしい。(平嶋委員)	平成30年度より、委員の発言機会を増やす取組みとして、委員の関心の高いテーマごとに編成した班別で討議を行う分科会形式で開催いたします。また、個別課題に特化した専門部会を必要に応じて開催するとともに、委員全員を対象に任意参加のラウンドテーブル(勉強会・意見交換会)を開催いたします。	②	【30年度運営方針】 ・具体的取組1-1-1 区政会議の開催と意見・評価の反映 30年度予算額 202千円
3	【あなたの声をつなげ隊】 「あなたの声をつなげ隊」を今後も続けていくかどうか、何かほかの形で成果をあげることができないかどうかを検証すべきではないか。(菊山委員)	平成30年度より、郵送で行っている区民モニター(区政評価員)へのアンケート調査との聴取項目の棲み分けを徹底し、インタビュー形式に相応しいテーマ選定を行った上でより効率的な意見聴取を行います。また、今後、職員が減少していく中で、活動をどの程度維持していくのがいいのか、より効果的で有効な実施方法がないかということは、引き続き、検討してまいります。	②	【30年度運営方針】 ・具体的取組1-1-3 あなたの声をつなげ隊による区民意見の聴取 30年度予算額 95千円
4	【グローバル人材の育成】 ・グローバル社会は、格差の拡大や子どもの貧困といったマイナス面も大きい。英語ディベート授業をするのもいいが、将来働くことができる人材、そういうところに重点を置くべきではないかと思う。(平嶋委員) ・「日本一の文教『都市』」を掲げているのであれば、現状の取組だけでは不足しているのではないか。(玉井委員)	英語交流事業について、昨年度まではディベート力の向上を意識した事業として実施していましたが、30年度はグローバル社会の中で力を発揮して働くうえでも大切なことである、英語によるコミュニケーション力を養うことに加えて、海外の文化・行動様式を理解するプログラムも付加して実施していきたいと考えています。 また、今年度から、子どもの貧困対策として、民間が開設する「子どもの居場所」(学校・家庭以外で子どもが過ごせる場所)における、学習支援・生活相談を行うサポーターの活動を支援することとしており、7月から区内3か所で居場所が開設されたところです。 「日本一の文教『都市』」をめざしてグローバル人材の育成やイノベーションを起こせる人材の育成など、子どもの力を伸ばしていく取組のほか、子育てスタート応援事業など子育てを応援する先駆的な取組みも実施しています。さらには事業効果を広げるため、学校と連携して事業を行うことにも力を入れています。限られた予算ではありますが、今後も委員の皆さまのご意見をお聞きしながら、効果的に事業を実施してまいります。	②	【30年度運営方針】 ・具体的取組2-1-1 グローバル人材の育成 30年度予算額 2,340千円 【30年度運営方針】 ・具体的取組2-1-4 子どもの居場所等における学び・生活サポート 30年度予算額 1,010千円
5	【イノベーション人材の育成】 ・職業体験を広げていってほしい。(平嶋委員)	学校と連携して、職業体験を含むキャリア教育の機会を幅広く提供できるよう取り組んでまいりたいと考えています。	②	【30年度運営方針】 ・具体的取組2-1-2 イノベーション人材の育成 30年度予算額 273千円

番号	いただいたご意見	対応状況(平成30年3月現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
6	【子育て世帯の支援】 子どもの数は減っているのに、虐待件数は増加している。虐待の予防として、暴力や力に頼らないしつけを理解するプログラムを子育て世帯の支援の中に加えることができないか。(井川委員)	そういったプログラムをされている子ども・子育てプラザや子育て支援センターなどの関係施設とも連携し、側面的な支援、広報をすることによって、より広げていきたいと考えております。	②	【30年度運営方針】 ・具体的取組2-1-6 子育て世帯の支援体制の充実 30年度予算額 1,396千円
7	【がん検診周知事業】 広報で周知していくのが大事だと思う。開業医の方からの声かけが効果的な面があるので、できれば医師会の協力も得られるように努力してほしいと思う。(平嶋委員)	区医師会にはがん検診の受診を呼びかけるポスターを掲示いただくなどご協力をいただいております。	①	【29年度予算額】 ・がん検診周知事業 332千円
8	【高齢者見守り】 個人情報保護の問題もあるが、誰が見守りサポーターなのかかわかるように、地元住民に知らせることができないか。(平嶋委員)	見守りサポーターについては、75歳以上の独居高齢者等で見守りを希望され、情報提供の同意をされた方に担当の見守りサポーターをお知らせしています。	④	—
9	【防災】 災害時に地域で助け合うという観点から、地域活動協議会や町会などと協力しながら、地域網羅的にはなかなかできないかと思うが、計画をたてて訓練などの取組を進めていただきたい。(山崎委員)	地域活動協議会や町会単位の防災訓練を、いろいろな団体の協力のもと、地域で主体的に取り組んでいただいております。今後とも、各地域が計画的に取組を進められるよう支援してまいります。	①	【29年度予算額】 ・防災出前講座の実施 619千円
10	【防災】 寺社の協力により一時避難場所を拡充するという取組があるが、広大な天王寺を一時避難場所にはできないか。(東浦委員)	広いスペースをお持ちのお寺を中心に、現在10寺院と災害時に一時避難場所としての活用を図れるよう協定を締結しています。今後とも、一時避難場所の拡充に向けて取り組んでまいります。	②	【30年度運営方針】 ・具体的取組4-2-1 地域資源との新たなつながりを活かした防災の取組 30年度予算額 3,587千円
11	【防災】 防災力向上のために「天王寺区サポーター制度(テンサポ)」を区の事業の中で具体的に活用していくような方法があれば、より一層、地域資源の活用につながるのではないか。(出水委員)	防災力向上に向けた取組として、災害時に協力いただける事業所を登録する「災害時協力事業所登録制度」の取組を進めています。災害時協力事業所にご登録いただくと、自動的に「天王寺区サポーター制度(テンサポ)」にもセットで登録できるため、引き続き、セットでの取組を進めてまいります。	①	【29年度予算額】 ・地域資源との新たなつながりを活かした防災の取組 1,853千円
12	【シティ・プロモーション】 市外に発信していくことができないか、検討していく必要があるのではないか。(玉井委員)	上町台地周遊マップは区外・市外への情報発信を目的に毎年10,000部～15,000部を作成し、市内主要ターミナルなどで配布しております。また、今年度、周辺区と連携して開催した大阪・熊野街道ウォークも多くの方に参加いただき好評をいただきましたので、今後もこのような区外・市外への情報発信を視野に入れた事業に取り組んでまいります。	②	【30年度運営方針】 ・具体的取組5-1-1 天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業 30年度予算額 1,235千円
13	【地域のつながりづくり】 町会を強化して、町会が中心となって活動することで、地域のつながりがもっとできると思うので、強化策などの方針を考えたらよいと思う。(菊山委員)	地域の各種団体などが協力しながら、つながりづくりなどのさまざまな地域課題解決に向けた活動に取り組む地域活動協議会が各地域で活動しており、今後これらの地域活動を支援してまいります。	①	【29年度予算額】 ・地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援 16,252千円
14	【その他】 勝山住宅跡地へ交番を誘致できないか。(東浦委員)	交番の移転は所轄署レベルでなく、府警本部の判断事項になりますので、警察に意見があったことを伝えます。	③	—

※分類

- ①当年度(29年度)において対応 ②30年度運営方針に反映または30年度に対応予定
③30年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
⑤その他